

はじめての財務・経済分析：理論・実践編

理論を学び、エクセルシートを使いながら、実際に財務・経済分析を行ってみよう！

概要

従来、日本の ODA 事業は無償供与主体の諸外国に比べて融資（円借款）の割合が高く、ここ数年インフラ輸出の追風もあり、再び拡大傾向にあるため、ファイナンス組成や事業の妥当性の重要な判断材料となる「財務・経済分析」に関する業務のニーズも拡大しています。そこで、円借款のフィージビリティスタディ（JICA の協力準備調査）の「財務・経済分析」業務に従事したい、あるいは事後評価で「財務・経済分析」を行いたいと希望するコンサルタントも少なくないと思います。そのためには、プロジェクトサイクルにおける「財務・経済分析」の位置づけ、業務の基本的な進め方、エクセル等を用いた計算手法、報告書のまとめ方を学習する必要があります。

本研修では、最初に、①「財務・経済分析」フィージビリティスタディの 3 本柱である、「費用便益分析」・「IRR 計算」・「感度分析」の理論を学びます。次に、②エクセルツールを使いながら、これらの分析手法を実践します。最後に、③関心のあるセクターなどをふまえてグループに分かれ、事例を使用して財務・経済分析を実際に行い、報告書にまとめるところまで実践します。また、実際の業務を想定して、データ欠落問題への対応方法といった業務でのサバイバルスキル等も経験談をとおして共有します。

「財務・経済分析」の初心者が、最低限の知識やスキルを身に付け、今後、フィージビリティスタディで「財務・経済分析」を担当し、または、事後評価で「財務・経済分析」を実施できるようになることが本研修の目的です。

目標

- 1) 「費用便益分析」・「IRR 計算」・「感度分析」の理論を学び、エクセルツールを使って実践できるようになる。
- 2) 分析結果を報告書にまとめられるようになる。

開催概要

日時：2018年 12月11日（火）～12月13日（木） 10：00～17：00 【3日間：合計 18時間】

場所：ECFA 会議室（東京都港区西新橋 1-6-13 虎ノ門吉荒ビル 7F）

対象：財務・経済分析の初学者で、ODA 案件のフィージビリティスタディや事後評価等、財務・経済分析に関連する業務に従事する意向がある開発コンサルタント

※IRR の算出等、エクセルでの演習を行いますので、研修時は Microsoft Office がインストールされたノート PC を各自持参願います。

定員：15名

※定員を越えた際は、会員企業の参加希望者を優先させていただきます。

受講料： <ECFA 会員> 40,000 円 <一般> 90,000 円 ※研修費・教材費・消費税込

カリキュラム

1-2 日目：JICA 円借款事業のフィージビリティスタディや事後評価で必須となる「費用便益分析」「IRR 計算」「感度分析」の3項目の習得を柱に、それらに関連するファイナンスの知識、データ収集方法、報告書の書き方等について随時触れます。そのため、上記3項目計算のためのスプレッドシート作成が目標となります。

3 日目：2 日目までで学んだ内容を活用し、グループワークによるケーススタディを通じて、財務・経済分析を実際に行います。また、フィージビリティスタディ以外のスキームや業務内容の深化に役立つ応用事項についても紹介します（ただし、時間と受講者の習熟度や実際の業務における優先度の関係から詳しくは触れられません）。

<タイムテーブル>

	時間	セッション	概要
1 日目	09 : 45 -	受付、基礎知識の確認	
	10 : 15		
1 日目	10 : 15 -	<第1セッション> <第2セッション>	1. イントロダクション - インフラプロジェクトにおける財務・経済分析の位置づけ - プロジェクトファイナンス概論（第2～4セッションの基礎的事項） - 財務・経済分析業務の基本プロセス、報告書の構成 - 財務分析と経済分析 2. 費用便益分析（エクセル演習含む） - キャッシュフローの算出（財務的便益・費用） - 経済的便益の特定・算出（with-without、支払い意思額等） - 経済費用変換 - 費用便益比率 3. 内部収益率（エクセル演習含む） - IRR の基本的考え方 - 将来価値と現在価値 - 割引率と資本コスト - FIRR と EIRR
	17 : 00		
2 日目	10 : 00 -	<第3セッション> <第4セッション>	4. 投資妥当性の評価（エクセル演習含む） - リスク評価と投資シナリオ - 感度分析 5. 実例分析（エクセル演習含む） - 主要分野（道路、給水、エネルギー）を事例とした報告書の分析 - 費用・便益の算出、IRR 分析、感度分析
	17 : 00		
3 日目	10 : 00 -	<第5セッション>	6. グループワーク - 参加者の専門分野、関心等に基づいてグループ分けし、ケーススタディを実施 - 費用・便益および IRR の算出、感度分析を行い、投資妥当性を評価 - グループ発表（JICA 報告書で最低限記載項目について）、ディスカッション
	16 : 30	<第6セッション> 応用的事項（時間的な余裕がある場合のみ）	- 事後評価における財務・経済分析 - マクロ市場分析および実践的データ収集 - PPP ファイナンス
	16 : 30 -	計算・選択問題 アンケート、修了証授与	
	17 : 00		

※プログラムはやむを得ない事情等により変更することがあります。また、進捗状況により、研修時間が多少前後する可能性もあります。予めご了承ください。

※昼休憩は1時間、その他の休憩は90分に1回を目処に取らせていただきます。

※昼食時に食事をしながら、講師・参加者の方々による質問・意見交換なども歓迎します。

※長時間の研修となりますので、リラックスした服装でお越し下さい。

※受講者の方には、事前に教材を配布します。研修前にできるだけ御一読下さい。

※受講者の方には、後日フォローアップのアンケートを行わせていただくがございます。ご協力お願いいたします。

講師紹介

アイ・シー・ネット株式会社 ODA 事業部 シニア・コンサルタント 荒木 憲

1998年東京大学法学部卒業後、中部電力株式会社、NECエレクトロニクス株式会社にて経営企画、海外投資プロジェクト、財務分析などに携わり、2009年よりアイ・シー・ネット株式会社にてJICAをはじめとした開発コンサルティング業務に従事している。専門分野は民間セクター開発、プロジェクト財務・経済分析、企業財務、中小企業振興など。経営学修士、中小企業診断士。



お申込み方法

受講申込用紙 (<http://www.ecfa.or.jp/japanese/hrd/index.htm>) に必要事項をご記入の上、Eメール(kono@ecfa.or.jp)にて締切日までにお申込み下さい。なお、本研修は、講師の急な予定変更などにより中止をせざるを得ない状況が生じた場合、実施予定人数に満たない場合は、開催を中止させていただきますのでご了承ください。中止決定の際は、すみやかにお知らせし、受講料はお返し致します。

お問合せ・お申込先

一般社団法人海外コンサルタンツ協会 担当：河野
TEL：03-3593-1171 E-mail：kono@ecfa.or.jp

締切：2018年11月27日(火) 17:00

※受講の可否についてはお申込み締切後、応募者全員にEメールにて連絡いたします。

※受講決定者には請求書を送付致します。受講料は、請求書に記載の期日までに銀行振込にてお支払い下さい。なお、一旦納入されました受講料は返金いたしかねますので、ご了承ください。

※1社より複数お申込み頂く場合には、社内にてお取り纏めの上、受講優先順位をつけて下さい。

※定員を上回った場合は締切日より早く受付を終了する場合がございますので、お早目にご応募お願いいたします。

※個人情報の取り扱いについて

提出いただいた「申込書兼履歴書」の個人情報は、本研修のみに使用し、これ以外の目的には使用しません。また、漏洩することのないよう厳重に管理致します。